

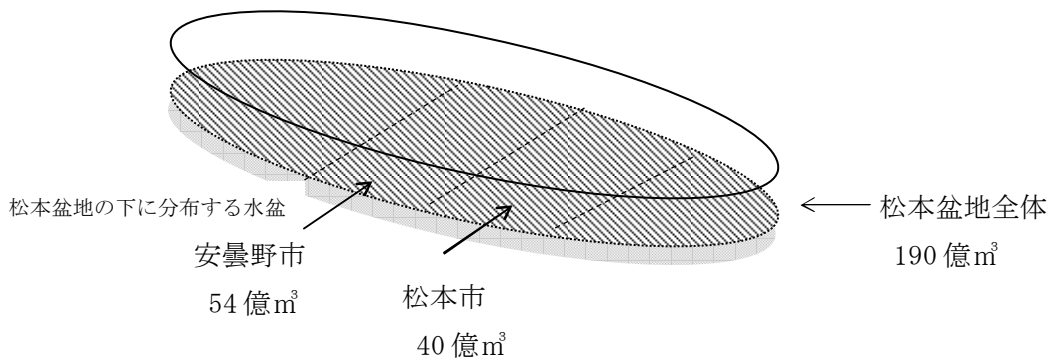
～ 地域の宝である「水」を守ります～

1 背景

松本地域では、周囲の山岳や高原から流れ出る豊富な清流や盆地に湧き出す湧水・地下水は、水道水や工業・農水産業用水として利用され、地域住民の生活や産業を支えているほか、安曇野の田園風景やまつもと城下町の湧水群など地域固有の景観を形成し、多くの人々を惹きつける魅力的な観光資源になっています。

しかし、近年、この貴重な水資源に係る課題、特に地下水に係る課題が顕在化してきています。

地下水を涵養する機能の低下などによる地下水賦存量の減少、地下水位の低下が指摘されています。さらに、外国資本による森林買収などの水源の独占や地下水の大量取水による影響も懸念されています。



松本盆地の地下水賦存量

2 目標

水資源は、地域住民の生活に不可欠であり、住民共有の貴重な財産であることから、これを涵養する水源林等の水源地域の保全も含め、その持続的な保全を図ります。

【達成目標】当面の目標として、地下水賦存量の減少を阻止し、現状を維持する。

現 状	⇒	目 標
地下水賦存量が減少するなど、水資源やこれを涵養する水源地域に懸念される状況が生じているものの、これらに対抗する手段は不十分な状況		実効性ある水資源保全対策、水源地域保全対策を確立し、実践することにより、地下水賦存量が維持されるなど、水資源の持続的な保全が図られている状況

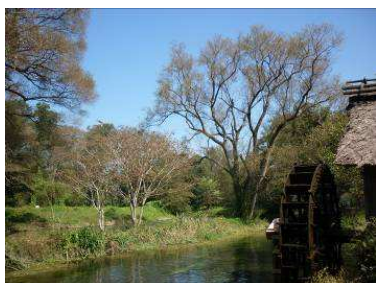
3 施策の展開

□ 水資源の保全

方向性 広域的な推進体制の下、賦存量の減少や水位の低下が指摘されている地下水等の水資源の保全対策を進めます。

【施策の内容】

- 県及び市村で構成する「水資源保全対策松本地域連絡会議」により、地域の水資源の現状を把握し、課題を整理し、水資源を涵養する対策や県と市村の役割について検討するなど、水資源の保全のための取組を進めます。
- 市村の枠を越えて分布する地下水については、地域が一体となって取り組む必要があり、県、松本地域8市村及び北安曇地域3市町村で構成する「アルプス地域地下水保全対策協議会」により、地下水の水位・取水量・水質の一斉調査についての検討、松本盆地の地下水の現状と課題に係る研究検討など、地下水の保全・適正利用に向けた取組を進めます。



※ 水資源の全般的事項については、「水資源保全対策松本地域連絡会議」により、また、地下水に係る事項については「アルプス地域地下水保全対策協議会」により検討を進めます。

方向性 水源地域における土地取引等の事前届出制度を適切に運用するとともに、地下水の適正利用を図るための取水規制など、必要な規制のあり方について検討します。

【施策の内容】

- 近年、目的が不明な土地取引による水源への影響が懸念されていることから、県では、水源地域における土地取引等の事前届出制度を創設し、その土地取引について監視・指導する仕組みづくりを進めています。
水資源の保全を図るため、この制度を適切に運用します。
- 地下水の無秩序な取水が行われないよう管理していく必要があり、市村の中には、地下水の保全に関する条例を制定し、地下水の適正利用のための取組を進めているところもありますが、その規制内容には差があります。
県と市村は、「水資源保全対策松本地域連絡会議」等により、地下水の適正利用を図る上で必要な取水規制など、有効に機能する規制のあり方について検討を進めます。

方向性 水源林や農地（水田）が持つ水資源保全機能や都市部における雨水浸透能力の維持・向上を図ります。

【施策の内容】

- 森林は、管内総面積の75.8%を占めており、水源の涵養、災害の防止などの機能を有し

ています。間伐などの森林整備を計画的に進め、森林が持つ水資源保全機能の維持・向上を図る必要があります。市村は、水源林の現況を把握し、保全が必要な水源林については、その保安林化や公有林化、あるいは森林所有者との契約または協定による管理手法などについて検討を進めます。県は、市村が実施するこれらの対策を支援し、市村と連携して水源林の持続的な保全に取り組みます。

- 農地、特に水田は、農作物を生産する以外に、地下水の涵養、大雨時の貯水などの機能を有しています。持続可能な水田農業を確立することにより、水田が持つ水資源保全機能の維持・向上を図る必要があります。県、市村、土地改良区などが連携しながら、ほ場整備や水路補修など農業農村整備事業を計画的に推進し、水田の耕作環境の向上を図ります。
- 傾斜地や地下水位が高い場所のように雨水の地下浸透に支障がある地域を除き、雨水浸透能力に考慮したまちづくりを進め、都市部における雨水浸透能力の維持・向上を図ります。また、車歩道や道路側溝の整備に当たり、雨水の地下浸透に考慮した整備を進めるとともに、公共施設の整備や事業場の設置や住宅団地の造成に当たり、透水性舗装の採用や雨水浸透ますの設置を進めます。

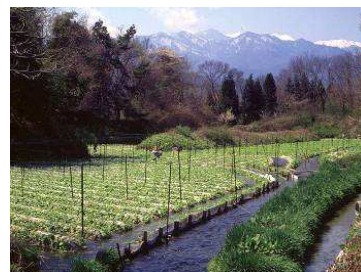
□ 水資源の利活用

方向性

全国に誇れる名水などの地域資源を活かした魅力ある観光を推進します。

【施策の内容】

- 県及び市村は、安曇野わさび田湧水群、まつもと城下町湧水群など、良好な水質、優れた景観、歴史的価値を持ち、地域の誇りとして守られてきたこれら水資源を活かした観光を推進します。
- 県及び市村は、名水が湧き出している箇所や水に関連した名勝を自転車や徒歩で巡るなどの周遊観光を推進し、県内外へ効果的な観光情報の発信を行います。



方向性

地域固有の水資源を利用した独自の農水産業の振興を図ります。

【施策の内容】

- 豊富で清冽な水がなければできないワサビ栽培や養魚など、この地域にしかない水資源を利用したこの地域独自の農水産物の生産の振興を図ります。
- 県及び市村は、ワサビ、信州サーモン、ニジマス等の農水産物の生産者に対し、安定生産や品質向上のための技術支援を行います。